

五小っ子

平成29年度 学校便り第9号 (6月16日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文

学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○やさしさいっぱい ○かしこさいっぱい ○たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。



ならぬことはならぬ

先週の授業参観・学級部会にたくさん来校して
いただき有り難うございました。

修学旅行では、6年生全員が全ての活動を計画通りにこなし、その成果を学校生活に活かしています。今日は4年生が長崎市へ社会科見学に出かけています。

1学期もあと1ヶ月となりましたが、314名の五小っ子たちは暑さにも負けず頑張っていますのでご家庭での応援も宜しくお願いいたします。

今号では最初に「**什(じゅう)の掟(おきて)**」について紹介します。

会津藩における藩士の子弟を教育する組織に「什(じゅう)」がありました。什では什長というリーダーが選ばれました。什長は毎日、メンバーを各家の座敷に集めて(輪番制)『什の掟』を訓示していました。

これが、本でも紹介され全国的にも知られるようになりました。学校でのいじめなどが社会問題となる中、TVドラマ「白虎隊」でも取り上げられ、ますます注目を集めました。

什の掟

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません
- 二、年長者には御辞儀をしなければなりません
- 三、虚言をいふ事はなりません
- 四、卑怯な振舞をしてはなりません
- 五、弱い者をいぢめてはなりません
- 六、戸外で物を食べてはなりません



「ならぬことはならぬ」ものなのです。

「TVやゲームの時間が守れない」等々の悩みをおもちの家庭も多いようです。「〇〇君や□□さんの家ではいいんだってよ」などと言う我が子の勝手な言い分に屈してはいけません。

「ならぬことはならぬ」と毅然と向き合うことが大切です。

お知らせ

五小ホームページを公開しています。『五小っ子の日々の活動の様』子や『学校だよりカラー版』を是非ご覧ください。

かしこさいっぱい

「先生、なんだか最近、自学をするのが好きになってきました。(^ _ ^)v」

これは3年生学級通信の書き出しです。朝一番に担任へ伝えた“えなさん”の言葉だそうです。その他にも、算数の計算に加え色々な教科に自学をひろげた“ひろあきさん”。理科で学習している虫の観察を詳しく書いている“なつきさん”。

ライバルに追いつけ追い越せと頑張っている“ゆいさん”。毎日、家の本で調べたことを絵と文でとても丁寧に取り組んでいる“ももなさん”。この前の休みに10ページも頑張った“はやとさん”……

3年生は、音読発表会でも全校のトップバッターとして伸び伸びと元気いっぱいの発表をしてくれました。

写真は、3年生の次に発表した5年生の様子です。こちらも見事でした。

「一つの詩にすごく長い時間をかけて、詳しく説明、発表しているのすごいいいと思いました。」(4年生琴子さんの感想です)



1年生の学級通信には『テストってなあに?』の見出しがありました。

- 名前をていねいに書くこと
- 問題文を良く読んで、聞かれていることを答えること(丸をつける、数字で書く、記号を答えるなど)
- 時間いっぱい、最後まであきらめずに頑張ること

このように担任の先生は、テストのたびに、1年生を励ましています。

また、ご家庭には、次のようなお願いもしています。

「子どもたちが持ち帰ったテストは、『できた』『できなかった』で終わるのではなく家庭学習のヒントとして活用してください。」

- ①学校で習っている内容を知る。
- ②学習内容をどれくらい理解できているかを知る。
- ③どんなところに子どもがつまづいているのかを知る。
- ④間違えたところを復習する機会にする。



全ての学年に共通する事ですので参考にいただければと思います。

やさしさいっぱい

2年生の生活科ではミニトマトやキュウリ・ナス・ピーマンなどを育てています。今ちょうどキュウリが食べ頃となっていて、昨日収穫した初物に塩をふって一口ずつ食べたそうです。すると、「校長先生たちにも食べさせてあげたいなあ。」と校長室まで届けてくれました。とってもおいしかったです。

これを聞いた理科専科の渡部先生が「いいなあ。食べたかったなあ。」とつぶやいていました。子どもたちは「次のキュウリは、まず渡部先生にあげよう!」と話し合ったそうです。

いろんな先生たちに関わってもらった子どもたちは“やさしさいっぱい”に育っています。

～2年学級通信から引用～



「やさしさいっぱい」に育っています。